



▲東日本大震災での救助活動 (市消防局提供)

「もしも」に備え、地震発生時に取るべき行動をあらかじめ把握しておきましょう。
☎地域起こし推進課 (☎568-7705、☎262-6986)

「防災の日」とは

大正12(1923)年の9月1日に発生した「関東大震災」では、死者・行方不明者が約10万5000人とされています。
また、昭和34(1959)年9月26日に紀伊半島に上陸した「伊勢湾台風」でも大きな被害が出たため、国民の防災に関する関心が高まり、昭和35(1960)年、「防災の日」が創設されました。
9月1日の「防災の日」を含む、8月30日から9月5日までを「防災週間」と定めています。

地震による被害

明治時代以降、日本では、死者・行方不明者が1,000人を超える地震が12回発生しています。近年では、平成7(1995)年の阪神・淡路大震災、平成23(2011)年の東日本大震災など、大規模な被害が発生しています。
「防災の日」をきっかけに、地震に関する情報を収集し、防災対策を行いましょ。



▲東日本大震災での被害状況 (市消防局提供)

地震発生時でも落ち着いて行動するために

地震は突然起きるものです。地震発生時に落ち着いて行動できるよう、事前にとるべき行動をイメージしておくことが大切です。
そこで、地震に備えて準備する物や、発生したときに取るべき行動を紹介します。

発生前の備え

- 非常持ち出し品(水、非常食、懐中電灯、ラジオ、衣類、雨具、薬、マスク、簡易トイレなど)を準備する
- 避難所を確認する
- 緊急情報などを知るために、市防災情報メールに登録する
- 家具を固定し、重い物や割れ物は低いところに置く
- 寝室に非常持ち出し品を置いておく

発生時に取るべき行動

- 建物の中では、頑丈な机の下に入って身を守る
- 外出時には、看板など、落ちてくる物や倒れてくる物に当たらないよう周囲を注意深く確認する
- 火事を防ぐため、家の外に避難するときは、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める



想定される地震と最大震度は?

市では、平成13(2001)年に安芸灘を震源とする、震度5強の「芸予地震」が発生しました。
今後、次の6つの地震が市域に大きな被害をもたらす可能性があると言われてしています。中でも、己斐—広島西縁断層帯による地震では、東区で震度6強にもなると予想されており、注意が必要です。

想定地震	東区での想定震度
己斐—広島西縁断層帯による地震	6強
南海トラフ巨大地震	6弱
安芸灘—伊予灘—豊後水道の地震	6弱
五日市断層による地震	6弱
安芸灘断層群による地震	6弱
岩国断層帯による地震	5強

注意!

震度6強の地震では、耐震性の低い木造建物の多くが、傾いたり、倒れたりします。

東区ハイキングコースマップ をリニューアルしました!

区には、市街地からのアクセスが良く、気軽にハイキングを楽しめる山が数多くあります。その山々のハイキングコースを紹介するマップを今年3月にリニューアルしました。地域起こし推進課で配布しています。

「尾長・矢賀」、「温品・馬木・福田」、「戸坂・中山」、「牛田山縦走路」の全4種類です。
☎同課 (☎568-7704、☎262-6986)



★ハイキングコースの詳しい情報やマップは下の二次元コードかページ番号から



市HP ページ番号 18988

ハイキングでの注意点

- ・こまめに水分補給をしましょう。
- ・野生動物(イノシシ、マムシ、ハチ、マダニなど)に注意しましょう。
- ・ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ・道に迷ったら無理に進まず、案内板などのある正規ルートまで戻りましょう。



▲二葉山頂上からの眺め

二葉の里歴史の散歩道 歴史の面影を訪ねて

「二葉の里歴史の散歩道」は、牛田新町の不動院から矢賀新町の矢賀一里塚跡までの間に点在する由緒ある神社・仏閣や史跡などの文化遺産を結んだ散歩道です。

日通寺 | 牛田新町一丁目3-13
(バス停牛田新町一丁目から徒歩3分)

本堂



日通寺は、浅野2代藩主光厳夫人である満姫(自昌院)の願を受けて、4代藩主綱長が元禄8(1695)年に建立しました。

満姫は、加賀前田家に生まれ、徳川家光の養女として浅野家に輿入れし、加賀御前とも呼ばれた人物です。

梅鉢紋入手水鉢



本堂の脇にある「梅鉢紋入手水鉢」は、満姫の生家である加賀前田家の家紋(梅鉢紋)が彫刻されており、前田家との深いつながりを示しています。

二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会が案内する「いつでもガイド」のお問い合わせは、2週間前までに地域起こし推進課(☎568-7704、☎262-6986)へ。「二葉の里歴史の散歩道」についての詳しい内容やマップは右の二次元コードから

